

日産自動車(株)

は開放特許WEB説明会で説明します

No.	技術シーズ	特許番号	内容
1	車いすの後付け電動化デバイス	特開P2026-54616 特開P2026-54617 PCT/JP2025/002084 特願2025-008138	・駆動装置と制御・電源ユニットを一体化した、軽量・コンパクトの後付けの車いす電動化デバイス。 ・ハンドリムへ取り付ける構造で、多くの機種へ適用が可能。 ・現在所有している車いすをそのまま使用可能。 ・工具不要で簡単に取付け/取り外しができる。
2	コールドスプレー光触媒膜	特開2024-175237 WO2024/252508	・これまで適用が困難であった、樹脂部品への酸化チタン光触媒の塗布が可能になる技術。 ・銅粉末を混ぜることによって暗い場所でも除菌効果が期待できる。 ・使用する合金の種類・成膜条件により、色を変えたり光沢やシボ感が出せる。
3	重筋作業なしで重量物の載せ替え・移動ができる台車	特許第7739951号	工場内で稼働するAGV(無人搬送車)のバッテリー交換台車として開発され、台車車輪は前後方向・左右方向の切り替え構造を有し運搬性・操作性の向上を実現した。 ・からくり技術を応用し動力源は一切なし。 ・重量物の運搬・台車への移載も含め重筋作業を廃止することが可能。 ・台車側のフックがかかる場所があれば運搬物は制限なし。
4	よくばり台車 (あったらいいなが全部つまってます)	特開2024-063968	・からくり機構を追求したことにより動力フリー、安価。 ・レバー操作で重量物の昇降が可能で、持ち上げ作業不要、腰痛撲滅。 ・荷台部分にスライド機構を持たせることで、重量物を荷台に載せた状態のまま(載せ替え工数を掛けることなく)台車自体をクルマの荷台へスムーズに積載可能。
5	二刀流台車	特開2024-043229 特開2025-080099	・レバーを握った時だけ、前輪(または後輪)の取付け角を所定の角度に変えることにより、当該車輪の自在⇄固定の切り替えを行うことで、直進安定性と小回りの二刀流を確保。 ・作業シーンにより、4輪自在と2輪自在を切り替えることで、直進安定性と小回りが両立し、作業性改善。
6	動力フリーの回転式バリ除去装置	特開2024-067911	・プレス成型後のひげバリ完全除去装置。 ・エアーを動力とした回転機構によりバリ除去。 ・目視検査/バリ取り作業を自動化し、見逃しや取り忘れによる後工程へのリスク大幅減。
7	移動式踏み台	特許第7757717号	・重量物である踏み台に格納式車輪を搭載 ・移動用ハンドルを操作することで車輪を出し入れすることができ、1人で踏み台を移動/設置させることが可能